

**台風19号被災地への災害対策
支援派遣が実施されました**

10月16日(水)から24日(木)までの9日間、岐阜県建設業協会(株)久保田工務店 久保田一成(会長)の会員企業から10人と国土交通省木曾川上流河川事務所の4人が、災害応援協定に基づき、東日本を中心に猛威を振るった台風19号により甚大な被害を受けた福島県郡山市で、災害対策支援派遣による活動を実施しました。

派遣隊員は、10月15日(火)の早朝に、岐阜市の両満川排水機場を出発し、現地では、排水ポンプ車3台と照明車2台により、24時間体制で家屋にたまった泥水の排水作業などの応急対応支援を行いました。



▲排水作業の様子

**こいやーかすがまつりを
開催しました**

10月20日(日)、かすがモリモリ村で、こいやーかすがまつりを開催しました。

このまつりは、素晴らしいふるさと春日の自然と伝統文化を広くPRし、産業の振興と地域の活性化を目的としたもので、特設ステージでは、揖斐川おぼろ太鼓の演奏、地元園児・児童・サークルによる発表が行われ、テントブースでは、地域の特産品などの販売も人気で、商品を買いたい求める人で賑わっていました。

その他、特産品の沢あざみと玉こんにゃくを使用した創作料理コンテストやわらぞうり飛ばし、丸太切り、上ヶ流の太鼓踊り、○×クイズが行われるなど、来場者は楽しい一日を過ごしました。



▲うまーいもんコンテスト
(沢あざみと玉こんにゃくの料理コンテスト)

**揖斐川上流に実のなる木を
植えよう大作戦が開催されました**

11月3日(日)、揖斐川上流に実のなる木を植えよう大作戦が開催されました。

この活動は、特定非営利活動法人揖斐自然環境レンジャーが主体となり、平成13年から徳山ダム堤体工事の際に伐採された跡地(通称「コア山」)に野生動物の餌となる実のなる木を植栽し、農作物に被害を及ぼしている野生動物を本来の生息地に呼び戻すことと併せて水源地域の保全を目的としています。

今回も多くの地域住民の参加があり、コナラ、オニグルミ、トチノキなど約200本の植栽を行い、自然とのふれあいや環境保全の大切さを学習しました。

なお、この活動は、「清流の国ぎふ森林・環境税」の補助を受けて行いました。



清流の国ぎふ

**セントジョージ市と交流
を行いました**

11月6日(水)～11月11日(月)の6日間、アメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市から派遣団が来日しました。

派遣団は、10月に行われたセントジョージマラソンの成績優秀ランナーや地元の中学生など総勢40人です。今年、マラソン交流31回目であり、セントジョージ市のアダム市長代理が派遣団の団長を務められました。

招待ランナーとしてハーフマラソンに出場した4人はいずれも入賞し、フルマラソンに出場した2人は完走しました。

揖斐川町滞在中は、町内のホームステイ先のお宅で日本文化に触れ、日本の生活を満喫しました。

また、中学生派遣団の皆さんは、北和中学校を訪れて、生徒同士の交流を深めていました。



▲セントジョージ派遣団の皆さん

第5回いびがわ産業
フェスティバルを開催しました

11月16日(土)、17日(日)の2日間、地域交流センター「はなもも」とJアイびがわ本店前の駐車場で、第5回いびがわ産業フェスティバルを開催しました。

この催しは、揖斐川町、いび川農業協同組合、揖斐川町商工会、揖斐郡森林組合の4機関が連携して、町の産業を盛り上げていくことを目的に毎年開催しています。

会場には、「揖斐高シヨップ」をはじめ、町内外の飲食店や商店、農家など54のブースが出店し、両日とも多くの人で賑わいました。

また、屋外特設ステージでは、ヒーローショーなどさまざまな催しが行われ、会場に訪れた人は足を止めて見入っていました。



▲揖斐高シヨップの様子

岐阜県原子力防災訓練複合
災害も想定した防災の取組

11月24日(日)、福井県の関西電力(株)美浜原子力発電所での事故を想定した原子力防災訓練が坂内地域と大和小学校、地域交流センターはなももなどで行われ、坂内地域の住民、岐阜県、自衛隊、警察、消防、医療関係機関、町など約700人が訓練に参加しました。

坂内川上地区は、原子力発電所から半径30キロメートル圏域で、国が定める「緊急時防護措置準備区域(U P Z)」のエリアとなっています。

参加された皆さんは、屋内退避や、安定ヨウ素剤の配布・服用、一時移転の避難、スクリーニング訓練等に参加。地震による土砂災害で道路が寸断されるという災害想定も加わり、岐阜県防災ヘリを使つての避難や、避難所設営訓練も行われ、県や町の職員と住民が一体となって訓練に取り組みました。



▲避難所設営訓練の様子

「いびの安全安心活動に関する
協定」締結式が実施されました

11月25日(月)、揖斐県事務所で、揖斐警察署、いび川農業協同組合、揖斐郡内各町商工会との間で、「いびの安全安心活動に関する協定」の締結式が実施され、揖斐郡3町長がアドバイザーとして出席しました。

この協定は、町民が被害に遭う交通事故、ニセ電話詐欺や情報モラルを始めとする犯罪被害の未然防止、行方不明者の情報共有などを、相互が緊密に連携して取り組むことで、町民が安全安心に暮らすことのできるまちづくりの実現を目指し、締結するものです。

式典後、揖斐警察署刑事課長、交通課長による研修会が行われ、揖斐郡内の犯罪や交通事故の現状についての説明と、今後の協力体制の確認が行われました。



▲協定締結後の関係者

城台山町並みウォーキング
を開催しました

11月30日(土)、揖斐川町役場を発着とした、第15回秋の城台山公園と揖斐川の町並みウォーキングを開催し、約440人の方が参加しました。

これは、秋の城台山の自然とふれあい、心身の健康を保持増進するとともに、江戸時代より城下町として栄えた揖斐川町商店街の魅力を再発見することを目的に始まり、毎年、地元地区や揖斐川町商工会などの協力をいただき開催しています。

参加者は、全長約7kmのコースを2時間30分程かけて、歴史民俗資料館、城台山公園、揖斐城跡、一心寺、三輪神社などの歴史に触れたり、コースの途中で提供されたいび茶や豚汁、ほうじ茶の洋菓子を楽しむたりしながら、豊かな自然や商店街の風情を満喫しました。



▲ウォーキングの様子